

NPO 法人スーダン障害者教育支援の会主催 中東情勢セミナーのご案内

「スーダンはこれで平和になるのか? ～新国家、旧国家の挑戦～」

2011年7月9日にはアフリカ第54番目の国家が生まれます。今年の1月9日、スーダンの南部独立を問う住民投票が行われ、投票者の98%以上が独立を選択しました。住民投票はきわめて平和的に実施され、国際社会の高い評価を得ていました。

しかし、南北境界線をめぐって双方間、緊張が高まり、現地は紛争再燃の可能性を否定できない状況にあります。更に、南部・北部それぞれがさまざまな問題を抱えており、安定化への道のりがまだまだ長いことが伺えます。

そこで南部独立前夜、スーダン人若手研究者による分析情勢を主として、日本人研究者によるコメントを交えながら、スーダンへの理解を深めるイベントを開催いたします。どうぞふるってご参加ください。(言語は日本語となります。他言語への通訳はご用意しておりません。)

■日時 : 2011年7月8日(金) 19:00~21:00 (受付: 18:30~)

■場所 : 日本財団ビル2階 A会議室

(地下鉄銀座線・虎ノ門駅、または溜池山王駅より徒歩5分)

<http://www.nippon-foundation.or.jp/org/profile/address.html>

■講演者: モハメド・オマル・アブディン (東京外国語大学大学院 (平和構築学))

コメンテーター: 武内進一 (JICA 研究所 上席研究員)

■参加費: 1,000円 (資料代込) ※CAPEDS 会員様は 500円となります

■定員 : 50名 (定員になり次第締切とさせていただきます)

■申し込み: 以下リンクのフォームから、7月6日 24:00 までにお申し込みください。

<http://bit.ly/IXxHPK>

■問い合わせ: 主催団体 特定非営利活動法人スーダン障害者教育支援の会 (CAPEDS)

事務局 並木麻衣 宛 (event@capeds.org)

■講演者プロフィール: モハメド・オマル・アブディン

1978年、スーダンの首都ハルツーム生まれ。幼少期から徐々に視力を失い、12歳には文字の読み書きが出来なくなる。ハルツーム州の小・中・高等学校を経て、1996年ハルツーム大学法学部に入学。その後1998年1月、国際視覚障害者援護協会の招聘を受け来日。2005年から視覚障害者サッカー普及活動を母国で開始。2006年9月4日付朝日新聞朝刊「天声人語」欄において、これらの障害者支援活動が紹介される。その後、東京外国語大学日本語課程に入学。2007年に同課程を卒業。同年4月から同大学大学院地域文化研究科国際協力専修コース平和構築・紛争予防コースに入学。現在、スーダンにおける平和構築をテーマに博士課程で研究活動を続け、アフリカ学会、英国中東学会、Sudanese Studies Association など、日本だけでなく海外でも発表を重ねている。

NPO 法人スーダン障害者教育支援の会 (<http://capeds.org/>) 代表理事。

(プロフィール詳細: <http://bit.ly/iF6OTG> / ブログ: <http://abdin.blog96.fc2.com/>)

■コメンテータープロフィール：武内進一

アフリカ研究（中部アフリカフランス語圏諸国）、国際関係論を専門とする。1986年3月に東京外国語大学フランス語学科卒業後、東京大学で博士号を取得。アジア経済研究所中部アフリカフランス語圏研究担当、コンゴ・ガボン駐在員、地域研究センターアフリカ研究グループ長などを歴任し、2009年からは国際協力機構へ出向している。アフリカ、紛争に関する著書多数。

（プロフィール詳細：<http://bit.ly/jLcviP>）

■主催：特定非営利活動法人スーダン障害者教育支援の会

日本在住のスーダン人全盲留学生を中心に、2008年からNPO法人として活動。スーダン北部を中心に、障害を持つ子どもや大学生の教育支援を行う。また、スーダンに初めてブラインドサッカーを紹介し、初のチーム立ち上げに関わる。

※本セミナーは日本財団募金プロジェクト「夢の貯金箱」の後援により実施されます。